



助成金情報

《抜粋》

◎「地域助け合い基金」
 コロナ禍対応助成・共生社会推進助成
 （公益財団法人 さわやか福祉財団）

【助成対象】非営利の組織であること。法人格の有無不問。自治会・町内会、地域の住民グループ等、個人の活動以外申請可。①コロナ禍により被った助け合い活動の被害額の支援（活動関係者が自ら補填する額）
 ②コロナ禍により生じた生活上の不便・不安を解消するための助け合い活動
 ③地域の助け合いを維持・発展する活動（新たに団体を設立する場合、または新たに活動を広げる場合等）

【助成金額】①上限の目安 20 万円 ②上限 10 万円
 ③上限 15 万円

【応募締切】随時・複数締切日

【問合せ先】〒105-0011 港区芝公園 2-6-8
 日本女子会館7階
 電話番号:03-5470-7751
 ファクス:03-5470-7755
 メールアドレス:mail@sawayakazaidan.or.jp



あなたも協働のひろば！

七夕飾り揺れる中、広々と開催しました

去る7月7日（火）、今年度最初の協働のひろば運営会議がありました。新型コロナウイルスの感染拡大のため、2月以来5か月ぶりの開催です。団体・個人のみなさんの活動がこれまでままたまなかった様子を伺い、今後の活動を徐々に進めていくことなど確認し合いました。

このたび、新規に30代の方が運営協力員に加わり、拍手に包まれました。

多様な市民活動団体が集う「協働のひろば」では、交流が生まれ、活動のアイデアが得られ、また連携することができます。参加希望の方は、市民活動センターまで。

市民活動団体紹介コーナー

「RUN伴+草加」が進化！
N I N伴草加 ~にんともそうか~

〈活動テーマ〉
●認知症になっても安心して暮らせる街 草加を目指して

〈活動内容〉
 RUNに限らず活動の幅を広げていきたいという思いから「NIN伴草加」にリニューアル。

●「普段は福祉施設や行政などで仕事をしているメンバーが、少しずつ時間と知恵を寄せ集めて活動しています。」

昨年は『認知症ひとり歩き声掛け模擬訓練』と映画『ぼけますから、よろしくお願いします』の自主上映会を開催し、たくさんの参加がありました。

今年は新型コロナウイルスの影響もあり模索中ですが、引き続き“認知症になっても安心して暮らせる街 草加”を目指して”活動を続けてまいります。”とのことで、今後の活動にも注目していきたいと思います。

⇔活動の様子




市民活動センターへの登録継続申請お忘れなく！

●今年度の登録申請がまだの団体または個人の方は、毎年度更新していただく必要がありますので、お早めに継続申請をさせていただきますようお願いします。

●センターの登録団体になると、市民活動に有効活用していただくための、予約なしで無料使用できる部屋やパソコン、紙折り機、格安印刷機などの各施設・設備・機器をご利用いただけます。

●また、情報をいただければ、市民活動センター公式フェイスブックにて、団体の活動情報を随時発信し、活動PRのお手伝いをします。



市民活動センター通信

第44号

令和 2年 8月5日発行

発行元：草加市市民活動センター 草加市谷塚町752番地 TEL 048-920-3580 FAX 048-925-1872
 Eメール simin-katudo@city.soka.saitama.jp

市民活動センターの新型コロナウイルス対策



市民活動センターでは、市民の皆様の様々なまちづくり活動に対し、状況に応じ市民団体、ソーシャルビジネスサポートネットワーク関係機関（※）、周辺市民活動センター等と連携し、活動相談、橋渡し、情報提供等に応じています。新型コロナウイルスの収束がなかなか見えない中で、お困りごと等ありましたら、ご予約の上ご相談ください。 ※日本政策金融公庫越谷支店、埼玉県東部地域振興センター、関東信越税理士会川口支部草加ブロック、埼玉県行政書士会草加支部、草加商工会議所、草加市市民活動センターが連携して、市民活動を支援しています。

なお、当施設のご利用につきましては、感染予防の徹底のため、以下のご協力をお願いしています。

◆最大利用人数

会議室	9名
第2交流スペース	9名
作業スペース	3名
交流スペース	…1m間隔で着座できる人数まで

◆ご利用の際は

- ・窓口で、①『ご利用のみなさまへ』と団体で保管していただく②『利用者名簿』、③『利用者チェックシート』を渡しますので、お帰りの際に③のみご提出ください。
- ・マスク着用、手指消毒、部屋の換気。
- ・非接触式体温計もございます。
- ・水分補給以外の飲食禁止。
- ・各室に消毒セット（アルコール液、紙タオル、床用ワイパー他）を用意しておりますので、皆さんが手などをふれた場所を最後に消毒してください。手袋が必要な方はお申し出ください。
- ・消毒使用済み物は備え付け袋に入れ、窓口へお持ちください。

令和2年

市民活動センターに関するこの間の開催中止事業

- ・令和2年度草加市ふるさとまちづくり応援基金（※）応募説明会（3/11）
 ※以下応援基金と表記
- ・まちづくり講座（3/11他）
- ・協働のひろば運営会（3/3,4/22,5/19,6/16）
- ・みんなでまちづくり会議（4/22,7/29）
- ・令和元年度応援基金実績報告会（4/25）
 …運営委員による書面確認に変更
- ・交流サマーフェスティバル（7/23）
 （ ）内は予定されていた日程
- ・NPOと市の共催によるパソコン教室

◆市民活動センター公式フェイスブックでまちづくり情報発信中「草加市立市民活動センター facebook」で検索！

決定
しました

令和
2年度



草加市ふるさとまちづくり応援基金助成事業 助成団体を紹介します!

去る7月4日(土)の審査会において、事業プレゼンテーションを経て、つぎの3団体が助成決定されました。当日は新型コロナウイルス対策として、公開にせず参加人数を限定して行いました。その様子を撮影した動画を市民活動センターの交流スペースで公開しています。市民活動センターでは、団体の活動に対し、今後もさまざまな支援を行ってまいります。



令和2年度の審査会の様子

はじめ
よう門

ゆうりんかい

友隣会



テーマ 友和と学習、まちづくり

活動内容 谷塚地区において、人と人との出会いの場を創出し、地域連携の啓発を行う。谷塚の歴史に触れ、地域行事への参加を呼び掛けながら、友和と学びの催しを年に3回開催。将来の盆踊り実施等の企画検討に着手。町会の防災活動、美化運動、市のまちづくり懇談会、地域マップ・景観づくり、公民館事業、祭礼等に参画。

活動予定
7月23日(木・祝): 例会にて研修会の実施
・テーマ「谷塚西口地区整備計画学習会」
9月27日(日)14時～16時30分: まちづくりシンポジウムの実施
・テーマ「谷塚中央地区まちづくりプランに学ぼう」
・パネラー 谷塚地区町会長、商店会、民生委員、西口地区整備計画区域居住者等
10月25日(日): 町内清掃活動。谷塚地区三町会と共催。
11月7日(土): パリポリくんバスを活用した、町探し歴史散歩
12月17日(木): 例会にて研修会の実施
・テーマ「自宅を地域に開く」または「スマホ基本操作学習会」
1月28日(木): 研修会の実施
・テーマ「(仮)知識基盤社会」
2月7日(日): 総会及び地域懇話会開催
・テーマ「学校と地域の協働を求めて」

基金活用 講師謝礼、消耗品費、印刷製本費等。

はじめ
よう門

松江子ども塾

テーマ 子どもの居場所づくり、学習支援

活動内容 地域の子どもたち(小学生23人)の居場所づくりと学習支援をするための、無料の学習塾。講師は、元教師3名とボランティア1名。
「あいさつの習慣」「お手伝いの習慣」「言葉の大切さ」を身に付け、「地元、地域への親しみを持つ」よう教育。町会、町会婦人部と世代間交流。
稲荷小学校と協議し、新型コロナウイルス対策で大変な学校に対し、協力できることを検討していく。
こども応援ネットワークPineを通して、子どもの健全育成に取り組む団体と連携。

活動予定 活動スケジュール: 毎週火曜日 16時～18時
会場: 松江第二町会館

基金活用 学習で使用する子ども向けドリル等の購入、講師謝礼、消耗品費等

子ども達の居場所づくりの目的

- ① 学習支援
- ② 挨拶の習慣
- ③ お手伝いの習慣
- ④ 言葉の大切さ
- ⑤ 地元、地域への親しみを持たせる



そだて
よう門

特定非営利活動法人
やさしいくらし企画
(IBT-Project)

テーマ 子どもとママの笑顔のために
この街で育つしあわせを届けたい

活動内容 木のおもちゃを揃えた木のおへやで、親子で遊べる居場所の運営。
草加の女性(ママ)による女性(ママ)のための活動の場づくり。子どもの一時預かり、家事代行、ヘルプが必要などき用のマッチングサイトの立ち上げ、女性や子育てをテーマにした講座の実施、会報の発行等。
将来的には、家庭内で起こる育児のさまざまな困難に寄り添い、支援できる体制の基盤をつくる。

活動予定 毎月1回、マンション子育てサロン
毎週月・水・土曜日 tonton's toy ちいさな木のおへや
毎週火・金「つなぐば」利用者の子ども預かり
9月～ 草加はじめて県東部地域のイベント出店
会場: シェアアトリエ つなぐば 他

基金活用 講師料、チラシ印刷、木のおもちゃ・荷物棚等備品購入費、イベント会場費、会場賃借料、水道光熱費、HP運営費等

